

STEP 1

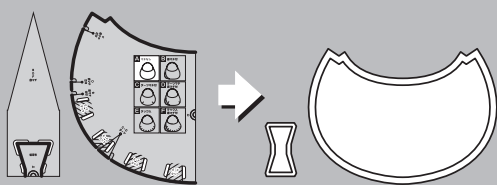
作るバッグの形を決め、下準備をします
テンプレートの右下のイラスト A~Fの中から
選んでください。

STEP 2

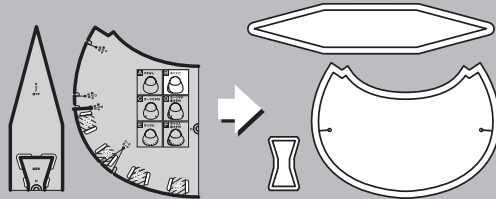
選んだバッグのイラストのラインの色に従って、
テンプレートの使用箇所を選び、印つけをします

STEP 1

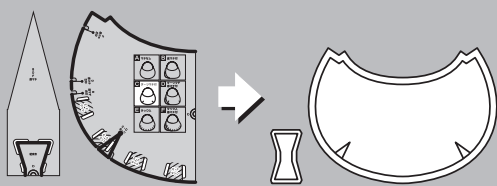
A マチなし



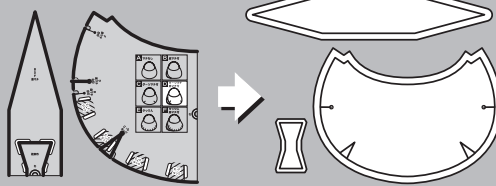
B 底マチ付



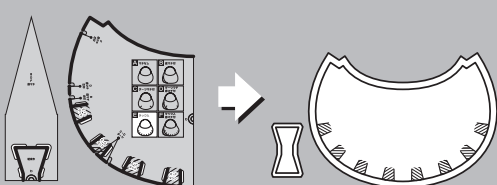
C ダーツマチ付



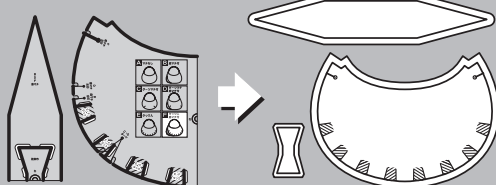
D ダーツマチ付 底マチ付



E タック入



F タック入 底マチ付



布の用尺(必要な布の大きさ)と材料

袋布						持ち手			
						●持ち手 (表布) 50×7cm (裏布) 41×7cm		●接着芯 (表布用) 50×7cm (裏布用) 41×7cm	●Dカン 25mmまたは30mm 2個
●表袋(側面)、裏袋(側面)、接着芯 30×42cm 各2枚ずつ									
●エフロンファスナー 40cm						結束部			
底マチ						結束布かタブを選びます *裏面「⑤結束布、またはタブをつける」参照			
			底マチ(表・裏各1枚) 54×12cm 底芯=厚手接着芯、ポリ芯等 (表布用) 50×10cm			結束布		タブ	
						表布・裏布 各1枚 13×8cm 各2枚 接着芯(表布用) 13×8cm 2枚		タブ(表布のみ)10×7cm 2枚 接着芯 10×7cm 2枚	

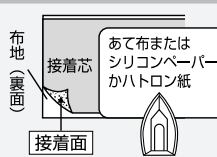
下準備

布地に接着芯を貼る

〈接着芯の貼り方〉

中低温(130~150°)で上から押さえる
ようにアイロンをあてる。
(ドライ・約10秒)

★接着芯に霧吹きをすると、熱が伝わりやすく、接着しやすくなります。



最初に接着芯を貼る布地

表袋(側面)
持ち手
結束布/タブ

※底マチは、底芯を出来
上がりのサイズに裁断
してから、表布の裏面
に貼り付けます。

底芯(おもて)

表布(うら)

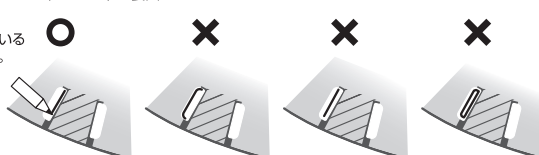
STEP 2

袋の型を描く

印のつけ方

※印は全て布の裏面につけます。

● 溝の印つけ
ラインの印がついている
側の溝をなぞります。



● 丸穴の印つけ
中心に印をつけます。

縫いしろの描き方

ぬいしろライナー

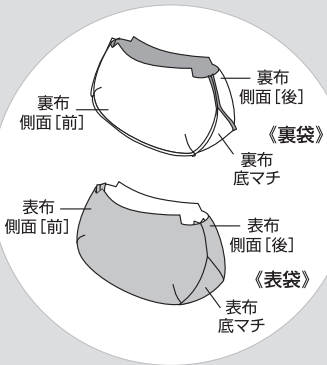
クローバー「水性チャコペン」
「布用シャープペンシル」など
のペン先を入れ、テンプレ
ートに沿って転がすように
パターンを描きます。

テンプレートの縁に付属の
「ぬいしろライナー」を
セットします。

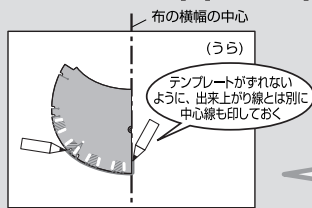
バッグ
テンプレ
ート

1cmの
縫いしろが
描けます

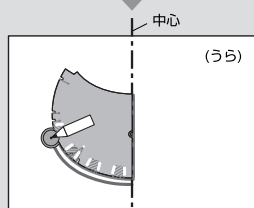
バッグ
テンプレ
ート



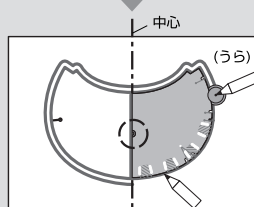
〈側面の型の描き方〉 表布[前][後]・裏布[前][後] 計4枚に印をつける



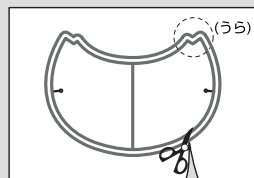
1. 布の裏面に出来上がり線を描く。ダーツ及びタックをつける場合は、その印をつける。底マチをつける場合は、底マチとの合い印をつける。



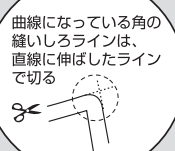
2. 「めいしろうライナー」を使い、縫いしろ線を描く。
* 左記「印のつけ方 縫いしろの描き方」参照。



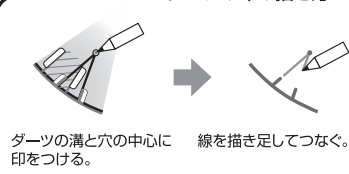
3. (わ)を中心にテンプレートを裏返し、1.2.と同様に印をつける。



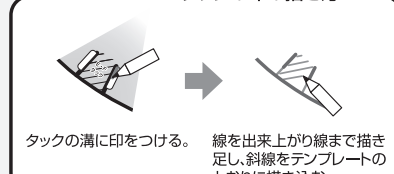
4. 縫いしろ線に沿って裁断する。



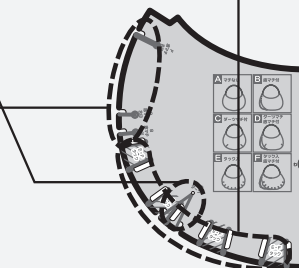
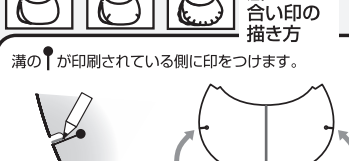
ダーツの印の描き方



タックの印の描き方



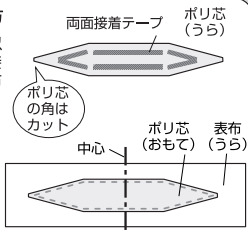
底マチとの合い印の描き方



ポリ芯の縫い付け方

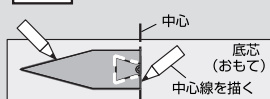
1. ポリ芯の端から1cm以上内側の部分に両面接着テープを貼り、表布の裏面に貼り付ける。

2. 貼り合わせたポリ芯と生地をポリ芯の端から約5mm内側のラインで縫い合わせる。

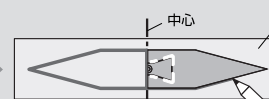


〈底マチの型の描き方〉

【表布】 底芯に出来上がり線を描き裁断し、表布の裏面に貼り付けてから、表布に縫いしろ線を描きます。



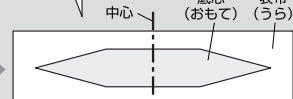
1. 底芯の表面に、出来上がり線を描く。



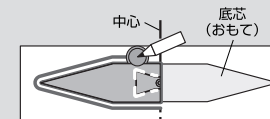
2. (わ)を中心にテンプレートを裏返し、1.と同様に出来上がり線を描く。



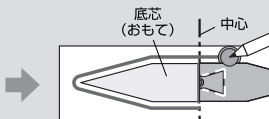
3. 出来上がり線に沿って、底芯を裁断する。



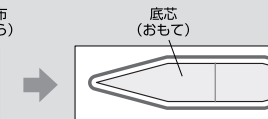
4. 裁断した底芯を、表布の裏に貼り付ける。
※底芯が接着芯の場合はアイロン接着、ポリ芯の場合はミシンで5mm内側を縫い付ける。



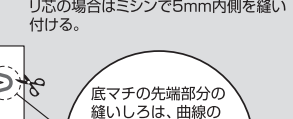
5. テンプレートを底芯に合わせ置いて「めいしろうライナー」を使い、表布の裏面に縫いしろ線を描く。
* 左記「印のつけ方 縫いしろの描き方」参照。



6. (わ)を中心にテンプレートを裏返し、5.と同様に印をつける。

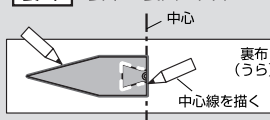


7. 縫いしろ線に沿って裁断する。

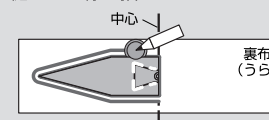


底マチの先端部分の縫いしろは、曲線のラインで裁断する

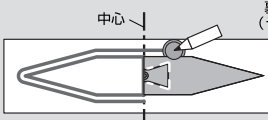
【裏布】 裏布の裏面に出来上がり線と縫いしろ線を描きます。



1. 裏布の裏面に、出来上がり線を描く。



2. 「めいしろうライナー」を使い、縫いしろ線を描く。

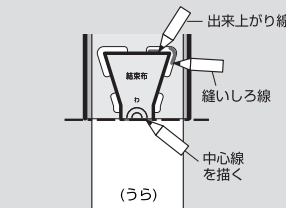


3. (わ)を中心にテンプレートを裏返し、1.2.と同様に印をつける。

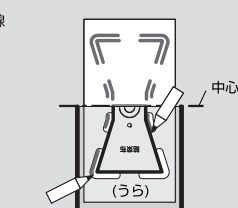


4. 縫いしろ線に沿って裁断する。

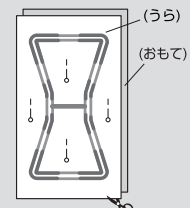
〈結束布の型の描き方〉



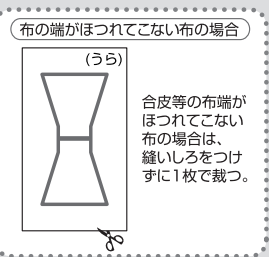
1. 溝の内側で出来上がり線、溝の外側で縫いしろ線の印をつける。



2. (わ)の印を中心に裏返し下半分を同様に印をつける。



3. 線を描き足してつなぐ。表布と裏布を中表に合わせ待針でとめ、縫いしろ線で裁つ。



STEP 3

バッグを仕立てます

1. ダーツまたはタックを作る

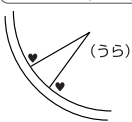


C (ダーツマチ付)、D (ダーツマチ底マチ付) はダーツを縫います。

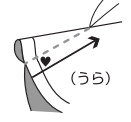


E (タック入)、F (タック入底マチ付) はタックを縫います。

ダーツの縫い方

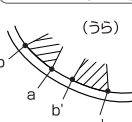


♥の印を合わせるように山折りにする

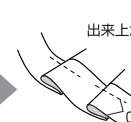
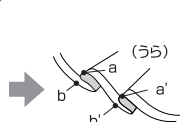


布端からダーツ先へミシンをかけ、糸を少し残しておく。

タックの縫い方



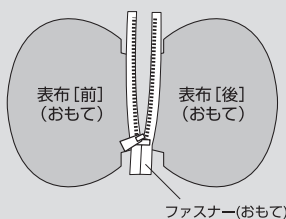
斜線がタック分量。斜線の“高い方から低い方”(a→b、a'→b')へひだをたたみ待針で仮止める。



布端から0.8cmくらいのところをタックを押さえるために縫っておく。

2. ファスナーをつける

表布[前][後]とファスナーを縫い合わせる。



縫い合わせ方 1

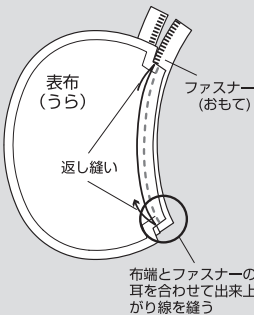
ミシン目が表に出ない縫い方です。
★市販のバイピングテープをはさむ場合はこの方法で縫い合わせます。



表布とファスナーを中表に合わせ袋口の出来上がり線を縫う。縫い始めと縫い終わりは返し縫いをする。



バイピングテープ



布端とファスナーの耳を合わせて出来上がり線を縫う

縫い合わせ方 2

ミシン目が表に出る縫い方です。

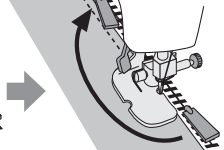
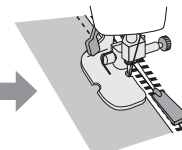
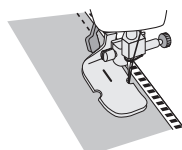


袋口の縫いしろを出来上がり線で裏面に折り、アイロンをかけて折り目をつける。

表布を表面に返し、ファスナーの表面に重ね、表から袋口にミシンをかける。

ファスナーのつけ方

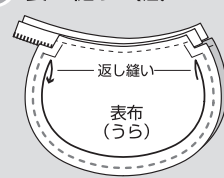
★ファスナー押さえがない場合は、普通の押さえ金をご使用ください。



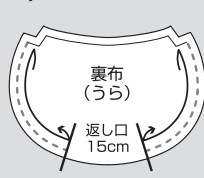
1. 押さえ金をファスナー専用のものにつけ替える。ファスナーを開けたままミシンで縫う。

2. スライダーの近くまできたら針を落としたまま押さえ金を上げ、スライダーを針の後ろ側へ動かす。

3. 袋を縫う (底マチをつけない)

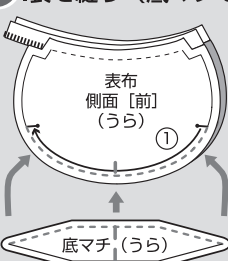


1. 表布[前][後]を中表に合わせ、脇と底を縫い合わせる。

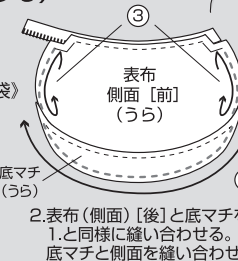


2. 裏布[前][後]を中表に合わせ、返し口を残し、脇を縫い合わせる。

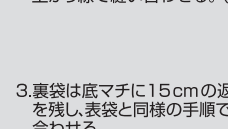
3. 袋を縫う (底マチをつける)



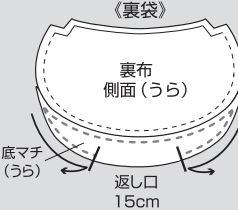
1. 表布(側面)[前]と底マチの中心と合い印を合わせ、出来上がり線で縫い合わせる。(①)



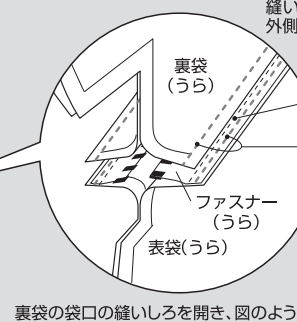
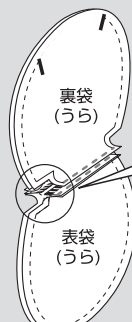
2. 表布(側面)[後]と底マチを1.と同様に縫い合わせる。(②) 底マチと側面を縫い合わせた後、表布(側面)[前][後]の脇を縫い合わせる。(③)



3. 裏袋は底マチに15cmの返し口を残し、表袋と同様の手順で縫い合わせる。



4. 表袋と裏袋を縫い合わせる



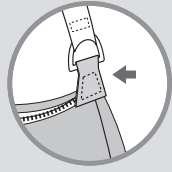
※裏袋は、表袋とファスナーを縫い合わせた縫い目よりも外側で、袋口を縫い合わせる。

表袋とファスナーを縫い合わせた縫い目
裏袋とファスナーを縫い合わせるライン

裏袋の袋口の縫いしろを開き、図のように合わせて袋口とファスナーを縫い合わせる。

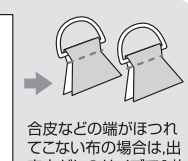
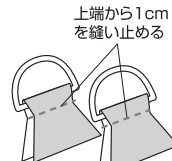
5. 結束布、またはタブをつける

結束布をつける場合 表から、脇を覆いまとめる方法です。④の工程の後、返し口から表に返し、結束布で脇をはさみ縫い合わせます。



結束布をつくる

* 印つけは、説明書表面「結束布の型の描き方」参照



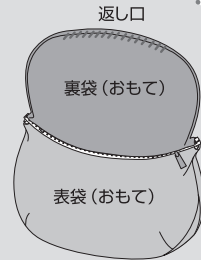
1. 返し口を残して、出来上がり線を縫い合わせる。

2. 返し口から表に返す。

3. 返し口を内側に折り込んでまつ。

4. Dカンをはさんだものを2セット用意する。

合皮などの端がほつれてこない布の場合は、出来上がりのサイズで1枚で裁ったものを2セット用意する。



切った後ファスナーの slider が抜けないように耳に返し縫いをするか、セロテープで止める

2. 余分なファスナーをはさみで切る。

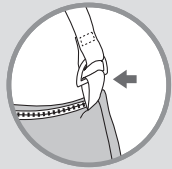
3. 脇を仮止める。

4. 脇を結束布で覆い、ステッチをかけて縫い合わせる。

結束布の幅と袋の幅がそろったところまで重ねる

タブをつける場合

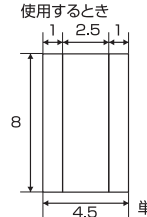
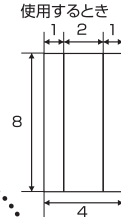
表に返した時に、両脇からタブが出る方法です。④の工程の後、返し口から表に返す前に両脇にタブをはさみ、脇を縫い合わせます。



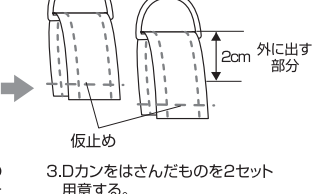
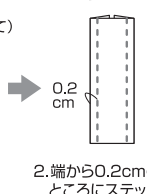
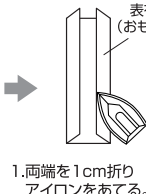
タブをつくる

★25mmのDカンを使用するとき

★30mmのDカンを使用するとき



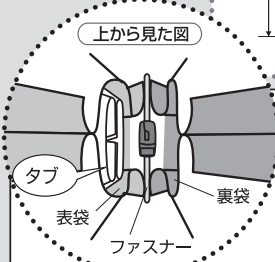
単位: cm



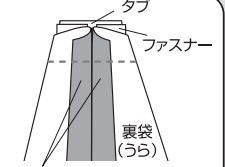
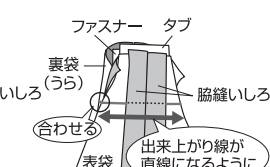
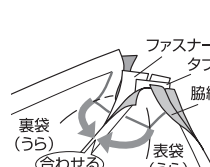
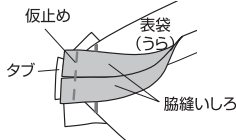
1. 両端を1cm折りアイロンをあてる。

2. 端から0.2cmのところにステッチをかける。

3. Dカンをはさんだものを2セット用意する。下端0.5cmを仮止める。



脇の縫い合わせ方

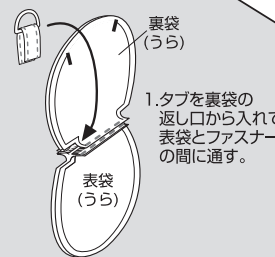


タブを図のように、表袋とファスナーの間にはさみ、表袋・タブ・ファスナー・裏袋を縫い合わせる。

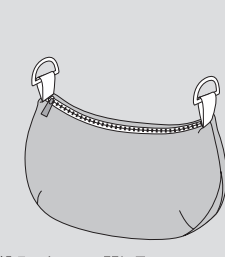
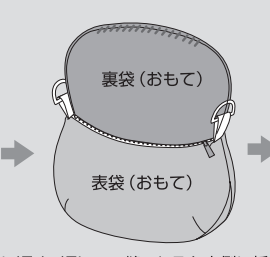
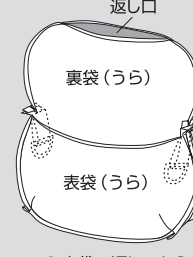
1. 表袋の脇縫いしろを開き、タブと表袋を仮止める。

2. 図のように、表袋と裏袋の出来上がり線の角を山折りにして合わせる。

3. 裏袋の脇縫いしろを開き、全て(裏袋・ファスナー・タブ・表袋)を一度に縫う。



1. タブを裏袋の返し口から入れて表袋とファスナーの間に通す。

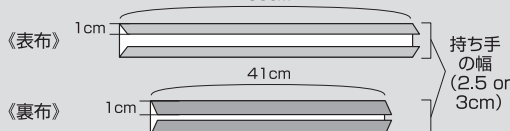
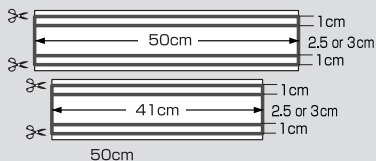


2. タブを表袋とファスナーの間にはさみ、表袋・タブ・ファスナー・裏袋を縫い合わせる。

3. 裏袋の返し口から表に返す。返し口の縫いしろを内側に折り込み、まつて閉じる。

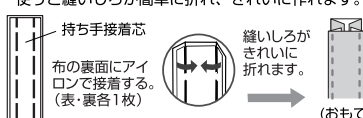
6. 持ち手を作る

持ち手の型
(上) 表布
(下) 裏布



おすすめ

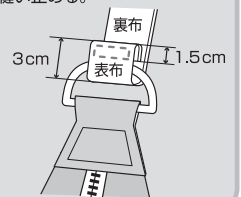
クロバーの「持ち手接着芯白<25mm/30mm>」を使うと縫いしろが簡単に折れ、きれいに作れます。



★詳しくは、商品/パッケージをご覧ください。

7. 持ち手をつける

持ち手の両端をDカンに通し縫い止める。



クロバー株式会社

030705